

http://www.minamih.net/



10・11・27(土) 南NEWS NO46

7期生に永吉英記君という高嶺小から一人で南に通っていた子がいました。今、由井三小で4年の担任をしている永吉先生の弟さんです。国立大学を出て、今は大学の先生をしています。子どもたちの野外活動の指導もしています。明るく、挨拶・返事がしっかりできる子で、誰にも優しい子でした。

その当時は、午後練が水・木・金、朝練が月・土とありました。永吉君は休まず高嶺小から通い続けました。個人技のレベルが高く、鈴木コーチの次男坊・淳君もいて強いチームを創っていました。

南ア・ワールドカップで活躍した選手を出し、東京都で何度も優勝しているチームが、4回目の全国大会出場を決めた後、強化のためにと練習試合を南に申し込んできました。

その試合前、府中少年サッカー場の第2コート、大櫓の下で相手の監督に「南が勝ったら、代表権をくれる？」と矢上が冗談で言っていたら、本当に南が1-0で勝ってしまいました。そのくらい強かったのです。午後練・朝練を休む子は一人もいませんでした。

永吉君は、その年、都代表になったチームを中心に編成するむさしの選抜に選ばれ、当時の清水市で行われていた、その年の各県の優勝チームが参加する清水リアルチャンピオン戦に出場し、MFとして活躍しています。

挨拶・感謝の念を忘れず、進んで協力してくれるお家の人の優しさが、一つのこと打ち込む優しく強い子を育てていると実感できるお子さん、親子でした。

今の南にも、そんな素敵なお子さん、親子が少なからずいますよ。だから、コーチのみなさんも矢上もGAMBAっていられるのです。

by 矢上



ラディッシュ南が丘招待大会 (11/7 立野緑地スポーツ広場)

正直、「史上最大の取りこぼしの3位」だったように思います。内容は悪くありませんでしたが、よく鍛えられたキーパーとクロスバーにゴールを守られてしまったのが敗因です。

(Bグループリーグ)

南八王子 対 レガール 2-0 (前半2-0)

得点者 小沢さん、片寄優さん

この試合ではボランチに入った小沢さん、FWで先発した山田さんが大活躍でした。小沢さんは試合開始1分で果敢に攻め上がり、こぼれてきたボールに反応して空いていたシュートコースにズドン。見事な先取点でした。山田さんは前線からの鋭いアプローチでボールを奪い、チャンスをたくさん作ってくれましたし、もう少しという惜しいシュートがありました。前半5分には、その山田さんからのパスを片寄優さんが技ありのミドルシュートが決まりました。

しかしそこからは欲求不満のたまる試合となってしまいます。攻撃はいつも通り多彩で面白いようにシュートまで行きますが、キーパーの堅守に阻まれるか、精度が少し甘くクロスバーに当たったりで追加点が取れませんでした。特に漆間花さんは神様に見放されたかのように、ゴールに嫌われていました。まあ、こういう時もあります。ちょっと物足りなさもありましたが、緊張しがちの初戦を無難にしっかりと勝利で終わることができました。

南八王子 対 南が丘 0-0

1試合目以上に欲求不満の塊のような試合となってしまいました。攻め続けて多くのシュートを打ちましたが、相手ゴールキーパーの堅守とわずかに狂ったシュート精度が最後までゴールネットを揺らすことはありませんでした。

ただし内容は決して悪くありませんでしたよ。最近ボールを怖がる癖のあった辻内麻さんのアプローチは良かったですね。ボールを奪って自らドリブルし、ボールをつなごうとするプレーが多く見られました。自信を持ってプレーして下さい。また、あわてることの多かった滝本さんは簡単にボールを蹴ることなく、自分で相手をおかわしてドリブルで攻め上がるという積極的なプレーを見せてくれました。気仙さんの豊富な運動量も健在で、ピンチの芽を摘み取り、チャンスに必ず顔を出すという理想的なボランチの役割を果たしてくれました。

う〜ん、試合を7割方支配しながら、引き分けとなり、得失点差からブロックリーグは2位となり3位決定戦へ進出です。サッカーは難しいですね。

(3位決定戦)

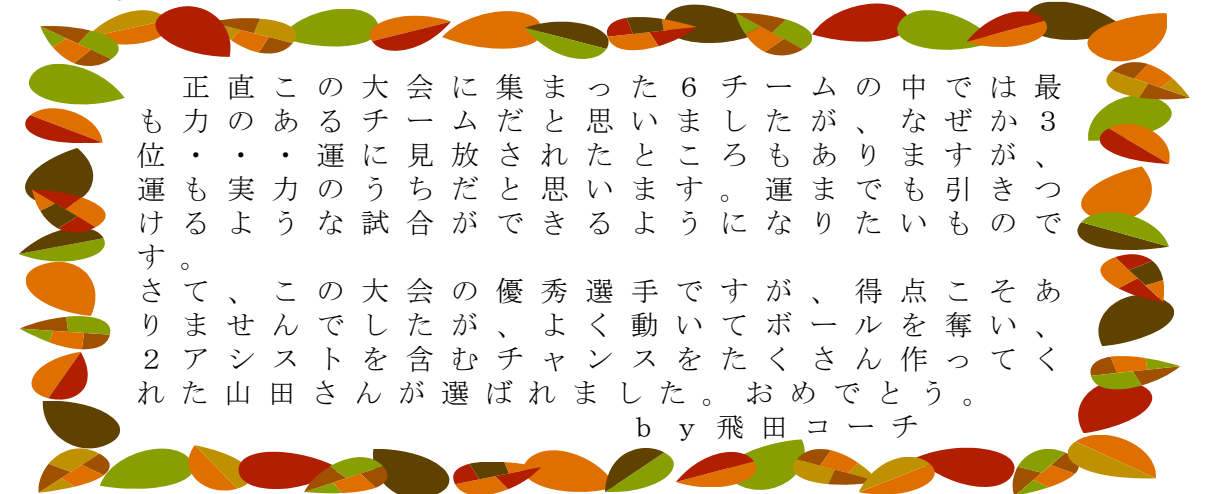
南八王子 対 厚木 3-1 (前半2-1)

得点者 片寄安さん、片寄優さん、漆間花さん

なんと先取点は試合開始17秒。キックオフから片寄優さんがドリブルで駆け上がり、止められたボールは山田さんがキープして片寄安さんへパスをつなぎ、片寄安さんがそのままシュート。グラウンダーの速いシュートがゴールに突き刺さりました。追加点は直後の3分。右サイドを片寄安さんがドリブルで攻め上がり、ゴール前へ速いクロス。そのボールを片寄優さんがしっかりと詰めてゴール。いったい何点取ってくれるのかな?と期待しましたが、こういう幸先の良い試合では油断が禁物。案の定、ボールへの反応が鈍くなり、またコミュニケーションの悪さから今日始めての失点を与えてしまいました。

ボールを支配するものの、疲れからなのか、動きや反応が重く、その後なかなかシュートまで行けません。待望の追加点は後半10分に西條さんのコーナーキックをゴール前で漆間花さんがしっかりと詰めて決めたものでした。ゴールに見放されていた漆間花さんでしたが、とうとう取れました。

その後は守備も安定して相手にチャンスを与えませんでした。最近ではキーパーで活躍の伊藤さんは、DFとしてボール受けても相手のアプローチを落ち着いてターンで切り返してパスをつないでいました。練習の成果が出ているように感じました。



正直この大会に集まった6チームの中では最も力のあるチームだと思いましたが、なぜか3位・・・運に見放されたところもありますが、運も実力のうちだと思います。運までも引きつめるような試合ができるようになりたいものです。さて、この大会の優秀選手ですが、得点こそありませんでしたが、よく動いてボールを奪い、2アシストを含むチャンスをたくさん作ってくれた山田さんが選ばれました。おめでとう。

by 飛田コーチ

路上駐車之苦情が由井三にあったそうです。ご注意願います。